

(2017年5月22日)

～ 人を豊かに、地球を美しく ～

貴金属・環境・食品分野のソリューション提供企業

松田産業株式会社

第68期

2017年3月期 決算説明会



— お問い合わせ先 —

取締役IR部長 木下敦視

TEL: (03)5381-0728

FAX: (03)3349-0867

<http://www.matsuda-sangyo.co.jp/>

# 決算概要と事業展開について

- 2017.3月期の連結売上高は前期比+0.6%の増収、営業利益は同▲5.3%の減益。

- 貴金属関連事業

半導体・電子部品業界は、年度前半は総じて生産状況が減少傾向、年度後半には回復の兆しが見られる状況のなかで、前期に対し、売上高は▲1.9%の減収、営業利益は▲20.9%の減益。

- 食品関連事業

個人消費の弱さから厳しい事業環境が続くなかで、前期に対し売上高は+5.0%の増収、営業利益は+42.1%の増益。

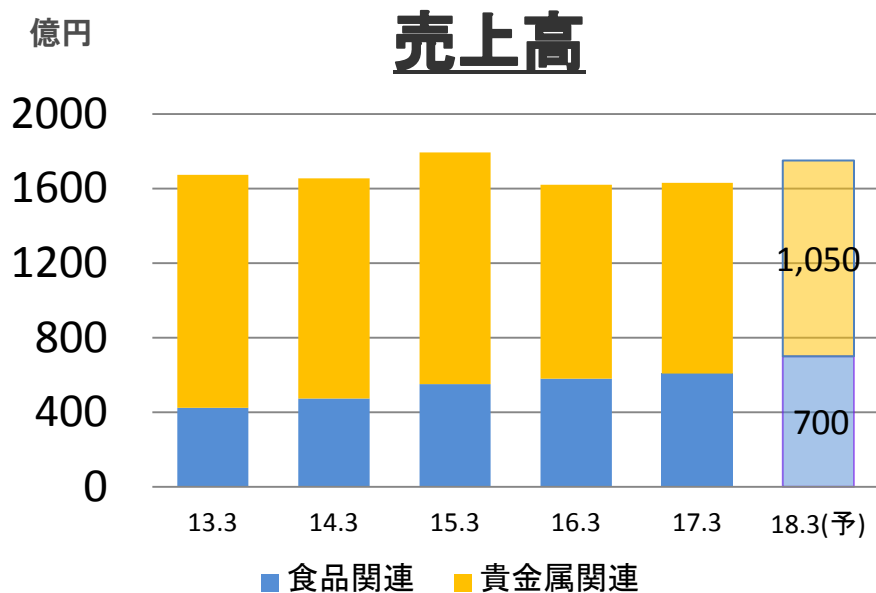
※比較数値は、全て前年同期比

# 2017年3月期(連結) 決算概要

単位:百万円

	16.3期	17.3期	増減	%
貴金属	104,159	102,219	▲ 1,940	▲1.9%
食品	57,905	60,834	+2,929	+5.0%
<b>売上高</b>	<b>162,065</b>	<b>163,054</b>	<b>+989</b>	<b>+0.6%</b>
貴金属	2,347	1,856	▲ 491	▲20.9%
食品	777	1,104	+327	+42.1%
<b>営業利益</b>	<b>3,125</b>	<b>2,960</b>	<b>▲ 165</b>	<b>▲5.3%</b>
営業利益率	1.9%	1.8%	—	
<b>経常利益</b>	<b>3,782</b>	<b>3,459</b>	<b>▲ 323</b>	<b>▲8.5%</b>
経常利益率	2.3%	2.1%	—	
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>2,573</b>	<b>2,454</b>	<b>▲ 119</b>	<b>▲4.6%</b>
当期純利益率	1.6%	1.5%	—	
1株当たり当期純利益(円)	97.23	93.21	▲ 4	▲4.1%
1株当たり純資産(円)	1,967.65	2,027.45	+60	+3.0%

※セグメント別売上は外部売上高を使用しております



## 18.3期通期予想 (対 17.3期比)

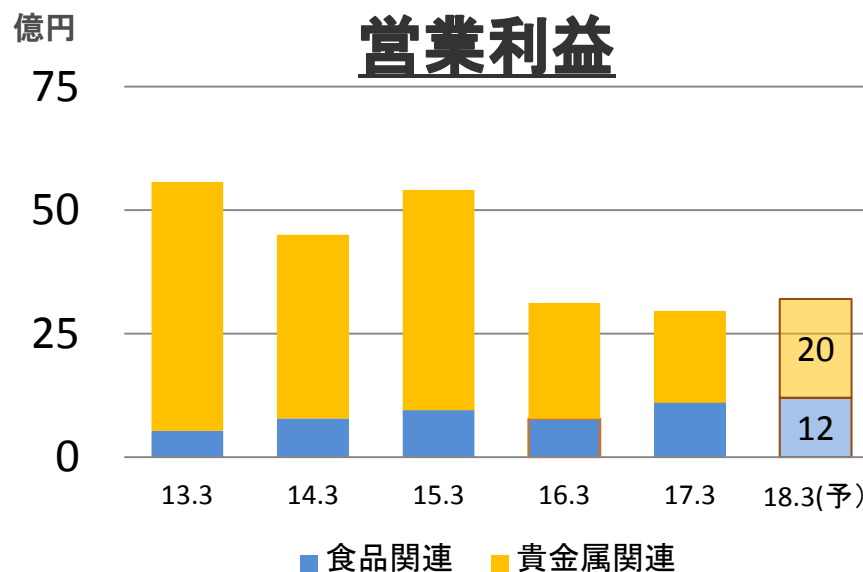
**1,750億円 (+119億円 +7.3%)**

■ 貴金属関連事業

1,050億円 (+27億円 +2.7%)

■ 食品関連事業

700億円 (+91億円 +15.1%)



**32億円 (+2.4億円 +8.1%)**

■ 貴金属関連事業

20億円 (+1.4億円 +7.8%)

■ 食品関連事業

12億円 (+0.9億円 +8.7%)

## 企業理念

限りある地球資源の有効活用と安定供給により、業を通じて社会に貢献し、お客様、株主、取引先、従業員、地域社会等のステークホルダーの期待に応えてまいります。

### 当社グループが目指す姿



中期経営計画の目標(2019年3月期)		連結
	見直し前 (2016.5.13開示)	見直し後
売上高	2,100億円	2,000億円
営業利益	50億円	40億円
営業利益率	2.4%	2.0%

## 経営戦略

### 貴金属関連事業

<拡大・成長牽引部門>

既存事業の  
収益極大化

新たな収益源の  
構築

最適な管理体制の構築

### 食品関連事業

<安定的成長部門>

東アジア地区での  
積極拡大

人材育成・確保

## 投資方針

貴金属関連事業と食品関連事業の両分野において、製品・技術開発、国内外の拠点整備や機能拡充等、事業拡大に必要な成長投資を積極的に行います。

既存事業の収益極大化: 貴金属リサイクル及び環境保全に関するノウハウ・インフラの最大活用  
新たな収益源の構築: 高機能電子材料・洗浄・メンテナンス技術の開発強化等

 松田産業株式会社

分析 / 前処理 / 製錬 / 精製



販売



無害化中間処理



回収



加工/販売



回収

エレクトロニクス業界



貴金属スクラップ



廃酸・廃アルカリなど



東アジア地区での積極拡大:7カ国に海外拠点を設立し、回収販売ネットワークを強化



## 海外展開の軌跡

- 1992 シンガポール支店開設
- 2000 タイ現地法人設立
- 2003 タイ工場稼働
- 2004 フィリピン現地法人設立
- 2005 シンガポール現地法人化
- 2007 中国現地法人設立
- 2009 マレーシア現地法人設立
- 2011 台湾支店開設
- 2012 マレーシア工場稼働
- 2013 タイ・チョンブリ営業所開設
- 2014 ベトナム現地法人設立
- 2016 ベトナム工場稼働

## 既存事業の収益極大化

### 取扱商品

#### 水産品



#### 畜産品



#### 農産品



商品仕入

品質管理



技術指導



MATSUDA



品質保証



食材流通



商品販売



品質保証



食材提案  
物流サービス

### お客様

練り製品  
メーカー

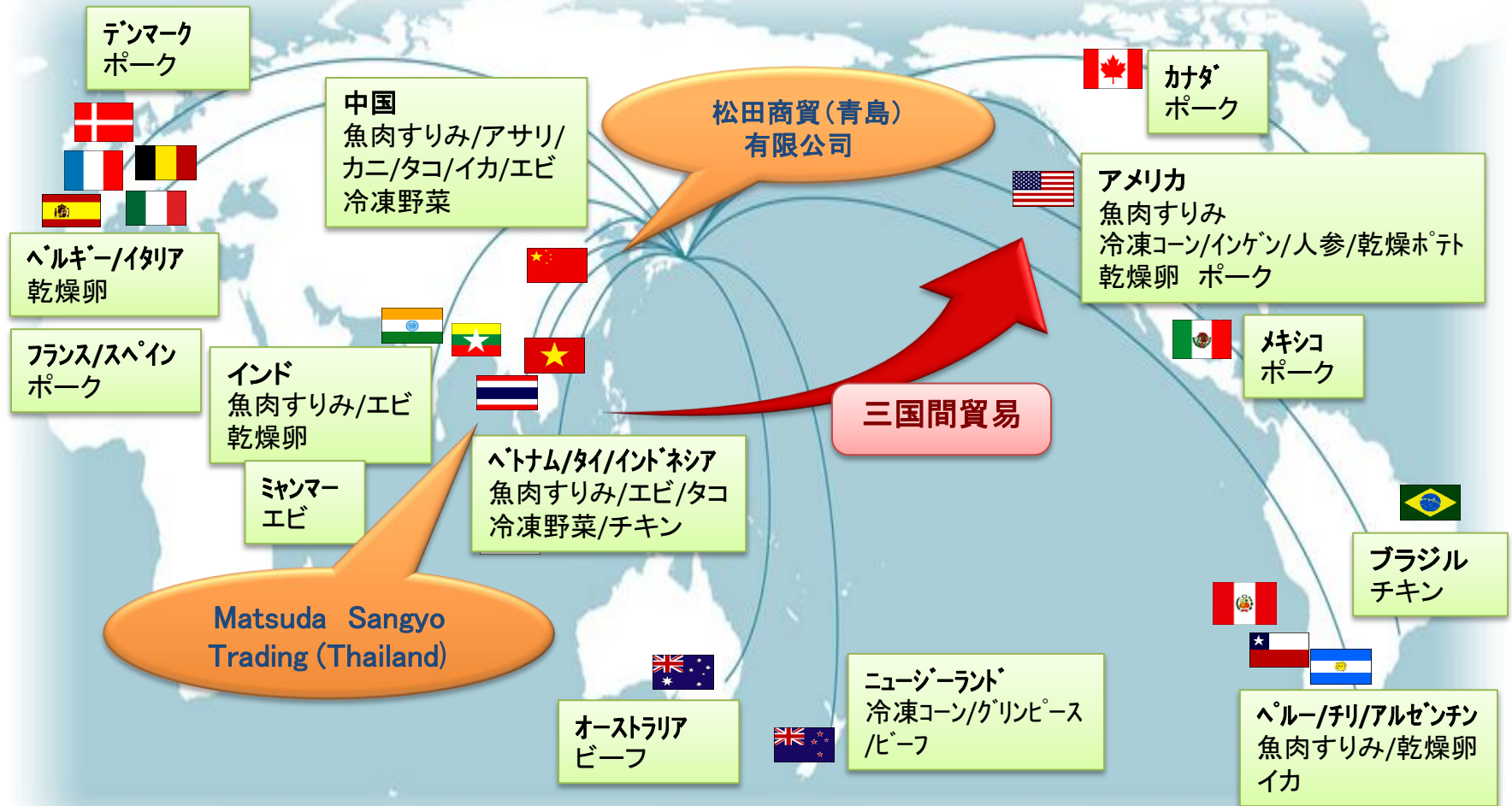
冷凍食品  
メーカー

ハム・  
ソーセージ  
メーカー

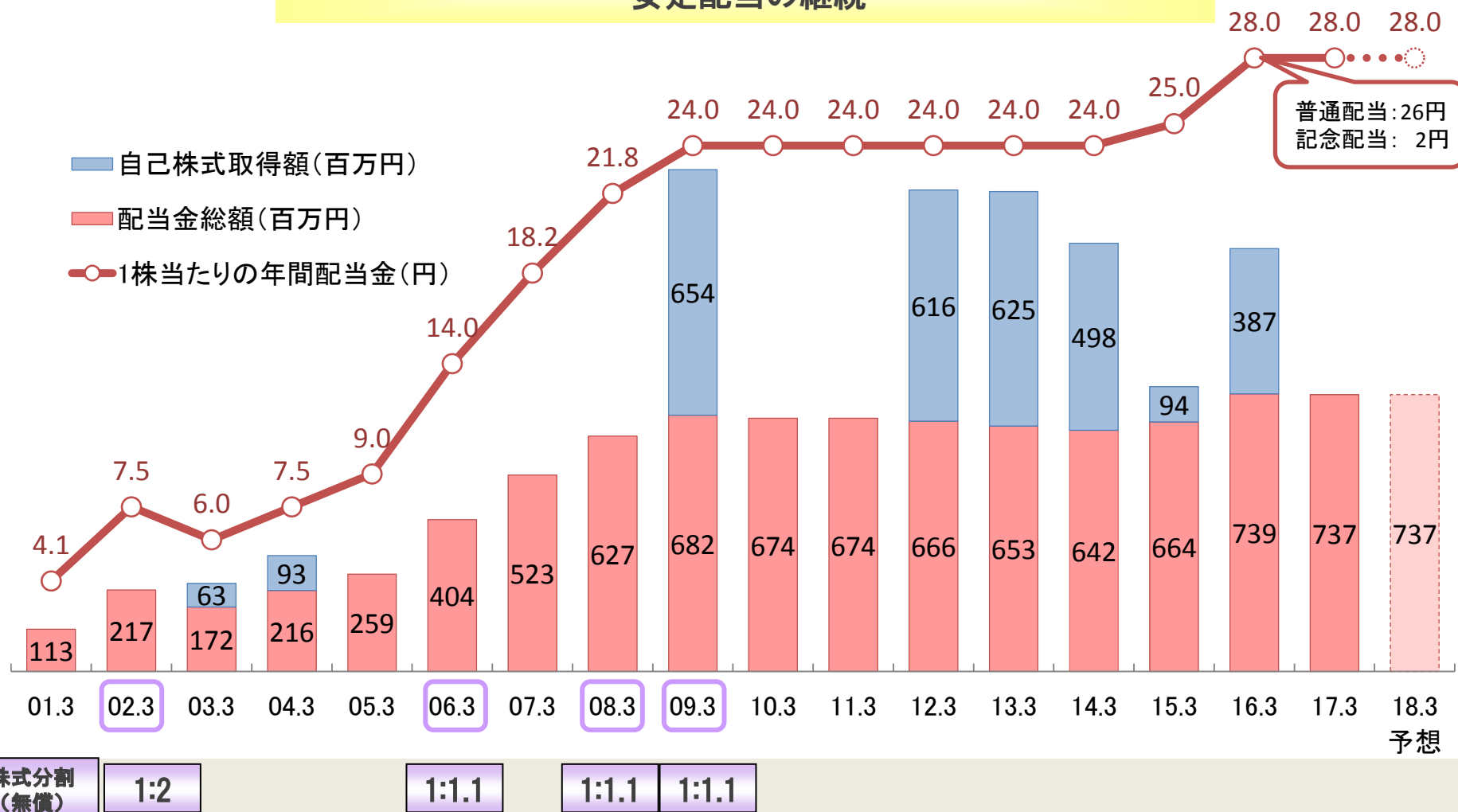
製菓・  
製パン  
メーカー

外食・中食  
業界

新たな収益源の構築:グローバルな調達ネットワークの拡大による商品ラインナップの拡充  
東アジア地区での積極拡大:中国・タイ現地法人を活用した海外販売市場の開拓



内部留保とのバランスを考慮した株主への利益還元  
安定配当の継続

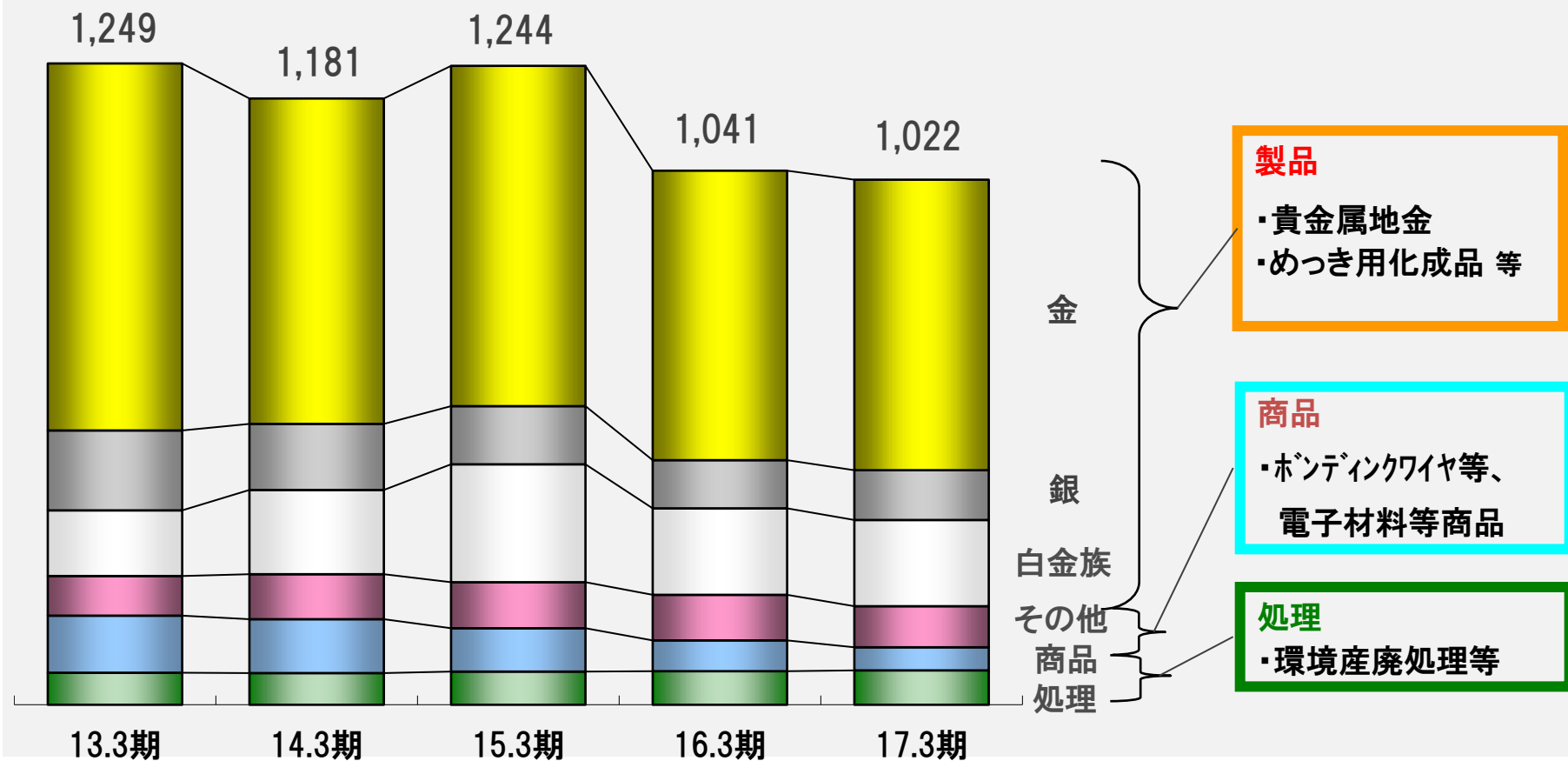


(注1)1株当たりの年間配当金は、株式分割の影響を補正しています。

# 2017年3月期決算と 2018年3月期見通しについて

# 品目別売上高の推移 <貴金属関連事業>

単位：億円



**製品**

- ・貴金属地金
- ・めっき用化成品等

**商品**

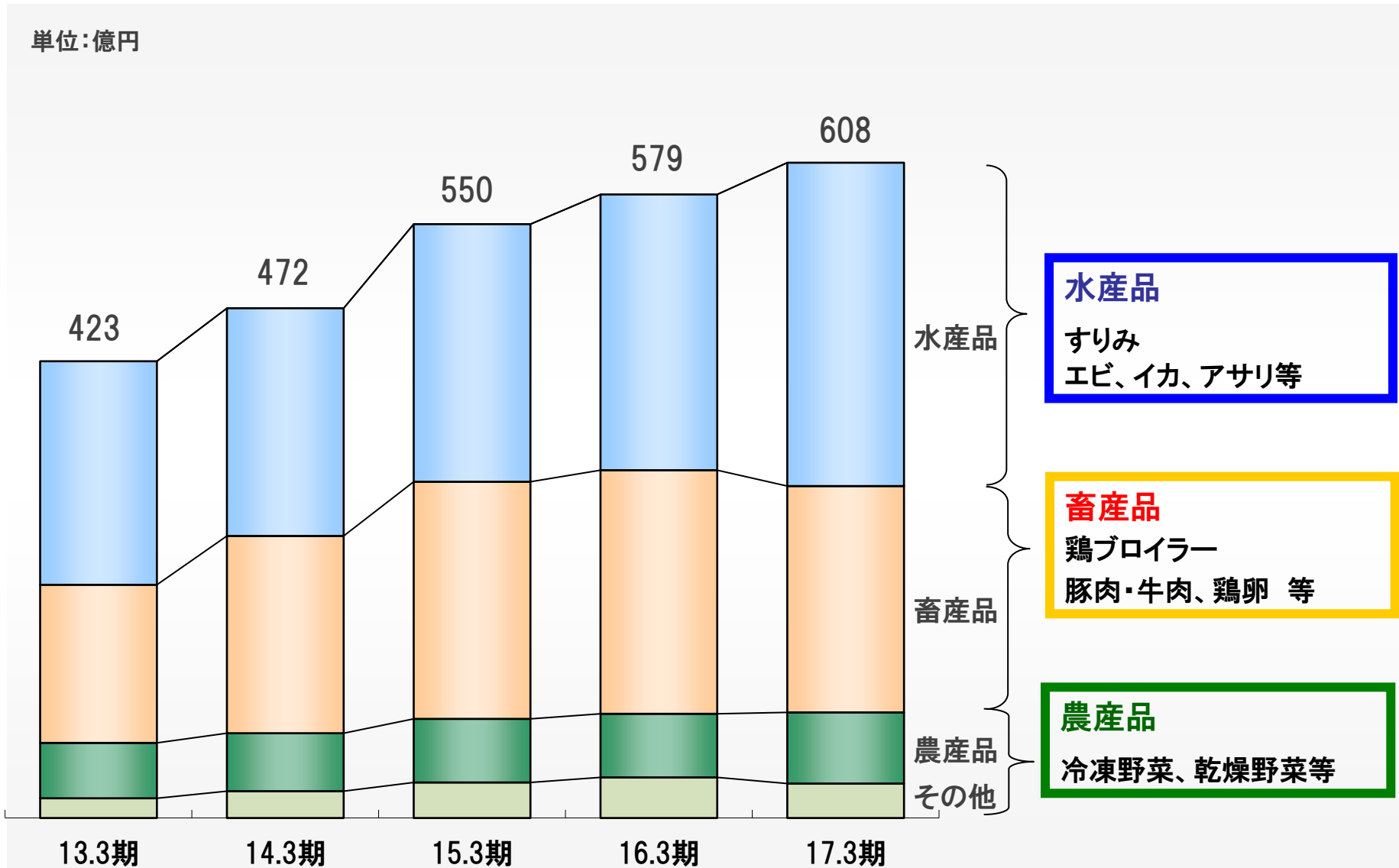
- ・ボンディングワイヤ等、電子材料等商品

**処理**

- ・環境産廃処理等

# 品目別売上高の推移 <食品関連事業>

単位:億円





## 連結業績 予想

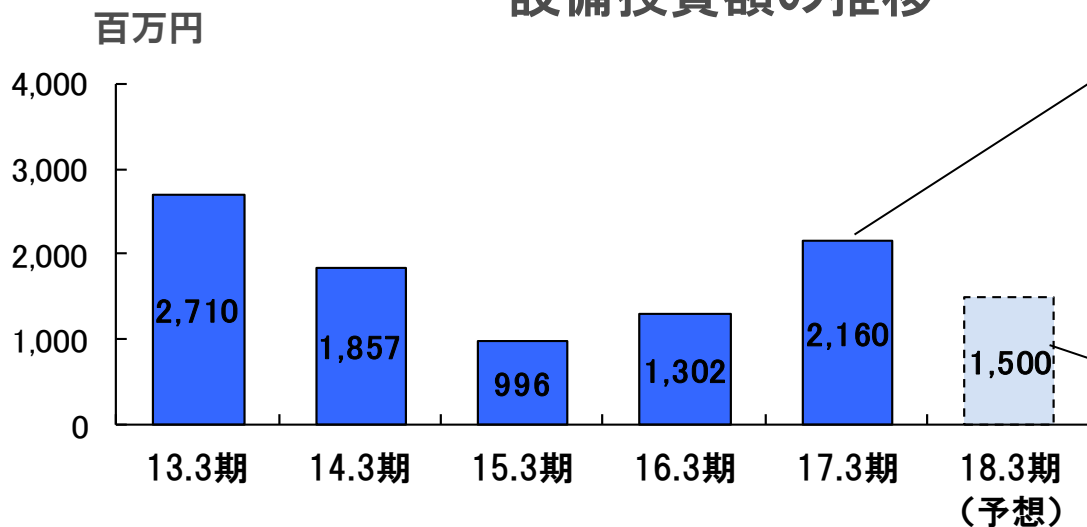
単位:百万円

		17.3期 実績			18.3期 予想			増減	%
		上期	下期	通期	上期	下期	通期		
売上高	貴金属関連	50,404	51,815	102,219	50,000	55,000	105,000	2,781	2.7%
	食品関連	28,607	32,227	60,834	34,000	36,000	70,000	9,166	15.1%
	合計	79,012	84,042	163,054	84,000	91,000	175,000	11,946	7.3%
営業利益	貴金属関連	796	1,060	1,856	900	1,100	2,000	144	7.8%
	食品関連	448	656	1,104	500	700	1,200	96	8.7%
	合計	1,245	1,715	2,960	1,400	1,800	3,200	240	8.1%
経常利益		1,427	2,032	3,459	1,600	1,900	3,500	41	1.2%
親会社株主に帰属する当期純利益		969	1,485	2,454	1,140	1,350	2,490	36	1.5%
1株当たり当期純利益(円)		36.80	56.41	93.21	43.29	51.26	94.55	1.34	1.4%
1株当たり配当金(円)		14	14	28	14	14	28	0	0.0%

※増減は17.3通期実績 対 18.3通期予想(2017年5月12日発表の連結業績予想)です。



## 設備投資額の推移



### 主な設備投資実績

17.3期

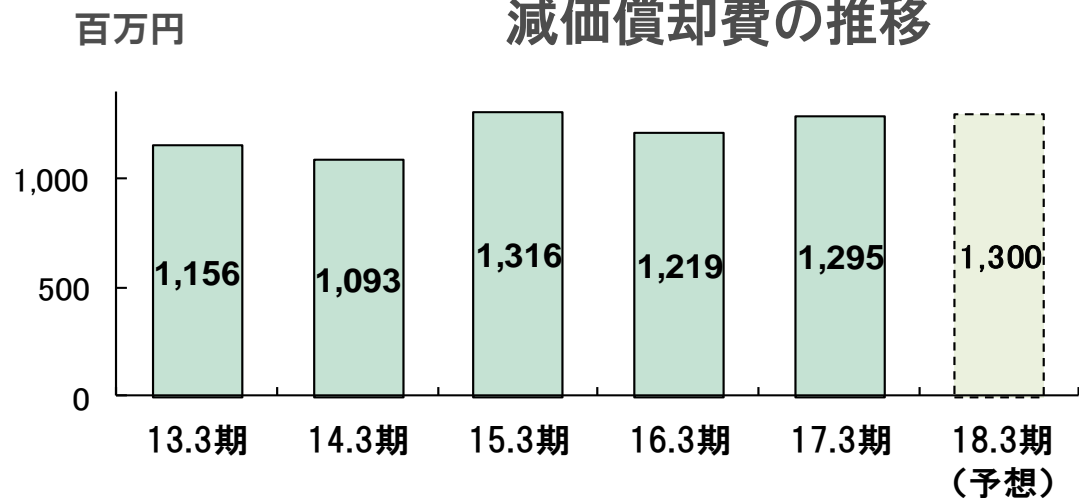
関工場	774
製錬・環境処理設備等	1,386

### 主な設備投資予定

18.3期

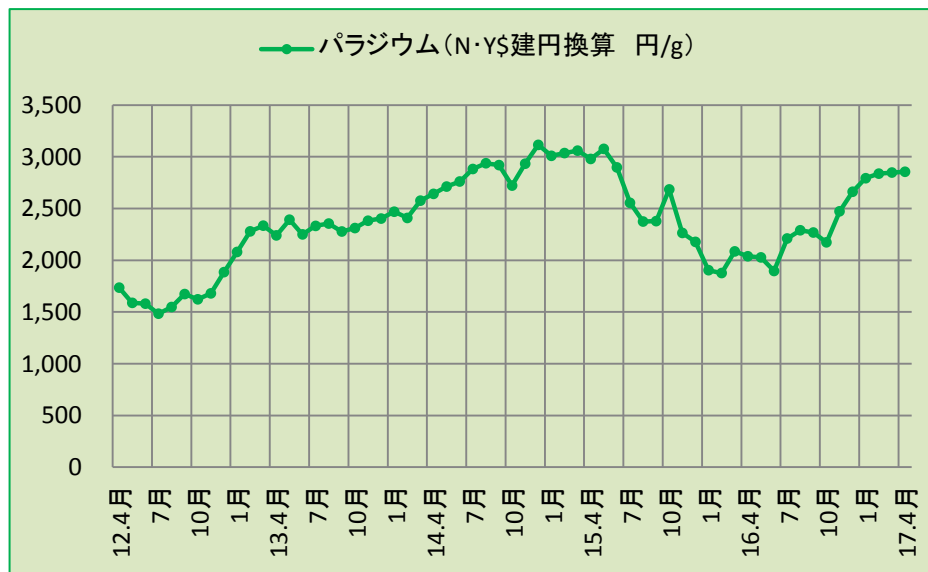
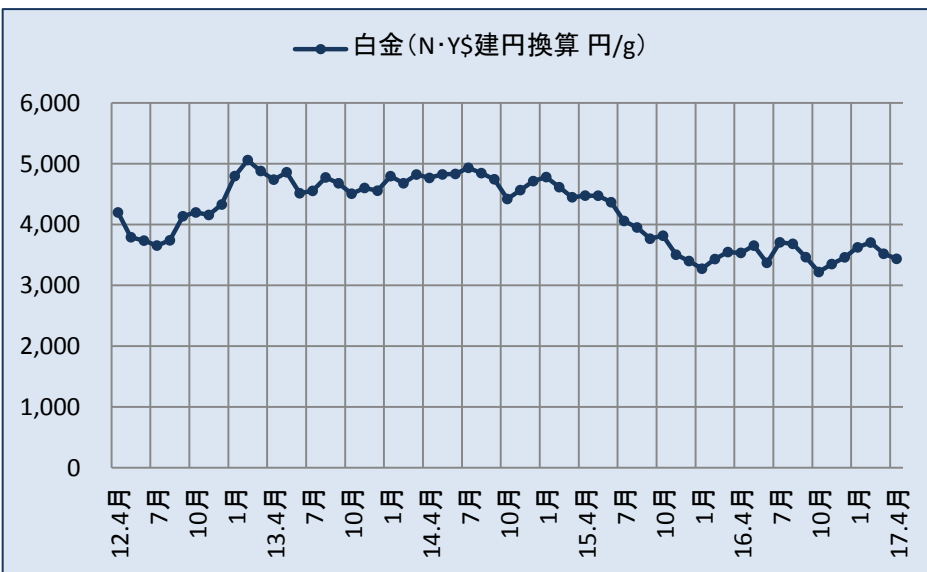
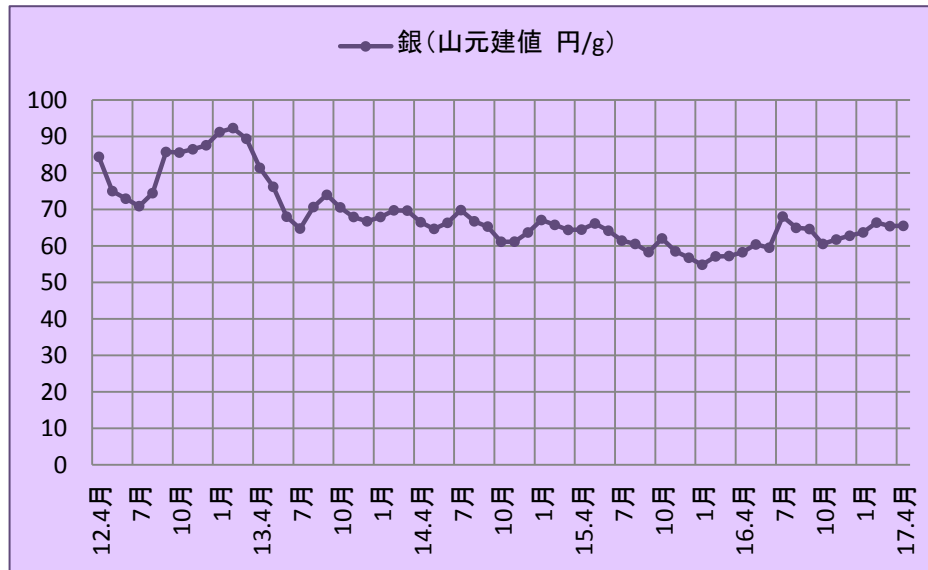
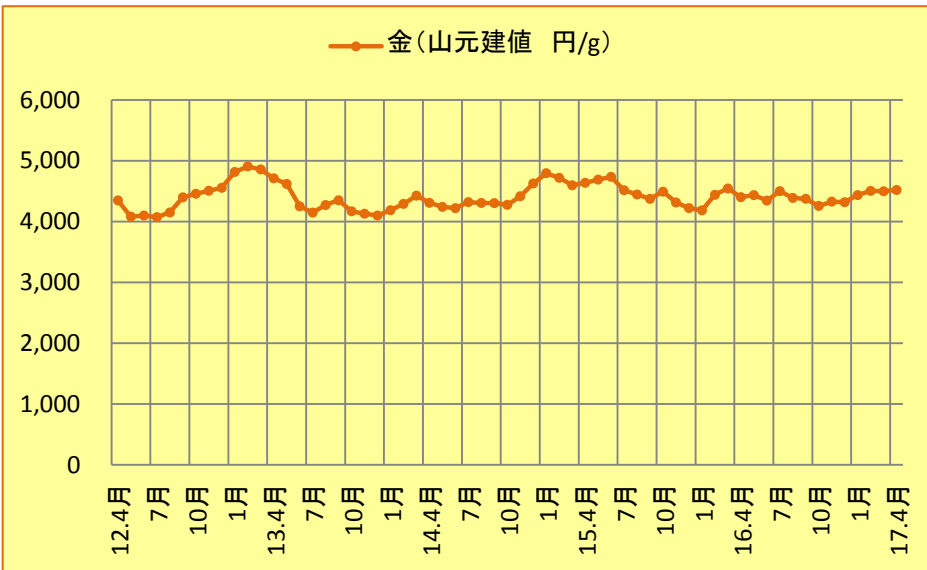
製錬環境処理設備・拠点拡充等	1,500
----------------	-------

## 減価償却費の推移



## ご参考

# (ご参考)貴金属相場の推移



# (ご参考)貴金属関連事業の拠点展開の軌跡

